

令和6年度 大阪市立 梅香中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標をもち、また、その向上への意欲を高める。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

令和6年度 大阪市立 梅香中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	200	53	47	3.9	14.0
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

2 中学生チャレンジテスト

学年		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	204	61.3	48.5	44.8	45.9	48.9	5.6	4.0	16.4	5.1	8.3
	大阪市	—	65.4	50.2	48.8	52.1	54.0	4.9	4.7	14.3	4.1	6.5
	大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.3	53.6	5.3	5.0	14.8	4.4	6.9

※ 3年生の理科はC問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】		聞くこと 【リスニング】		書くこと 【ライティング】		話すこと 【スピーキング】	
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3 年	学校	194	101.4	100.1	129.0	82.0				
10月	大阪市	—	105.7	104.6	149.6	102.1				

**令和6年度 大阪市立 梅香中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

<国語>

平均正答率が全国と比較して5.1%、市と比較して3%下回っている。

平均無回答率が全国と比較して0%、市と比較して0.2%上回っている。

学習指導要領の内容 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと においては、全国と比較して僅かなマイナスとなり努力がみられる。また、文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかを見る問題において、全国と比較して上回る結果が得られた。平均無回答率からも、問題を読み解き理解する力があると思われる。

<数学>

平均正答率が全国と比較して5.5%、市と比較して4%下回っている。

平均無回答率が全国と比較して2.7%、市と比較して1.5%下回っている。

回転移動について理解しているかどうかを見る問題においては、全国と比較して上回る結果が得られた。

【今後に向けて】

<国語>

授業規律を確保しつつ、生徒の学力向上に向けた授業改善に向けた取組として、作品の内容や構成、表現上の特色を踏まえ、自分の考えを書くことができる力をつける。自分の考えが相手に効果的に伝わるように書くために、根拠を示して説得力をもたせ、筋道立てて書く方法や、本文を引用するなどして、根拠を客観的に述べる方法等の指導に注力する。

<数学>

数学的活動の一層の充実を図るために、日常の事象や社会の事象から問題を見いだし解決する活動、数学の事象から問題を見いだし解決する活動、数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動の指導に力を入れる。また、「主体的・対話的で深い学び」の授業展開において、生徒の「問い合わせ」を重視し、その問い合わせを学級全体で解決し、さらに新たな問い合わせに向かう、ような学ぶ生徒の姿をつくる。

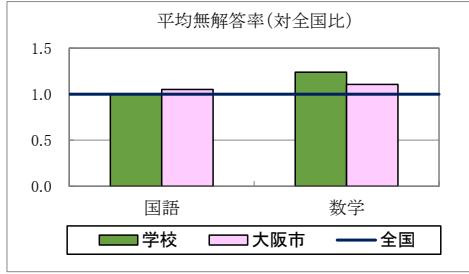
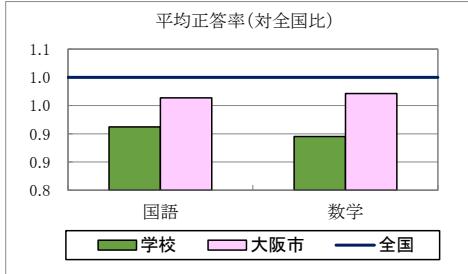
**令和6年度 大阪市立 梅香中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	53	47
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

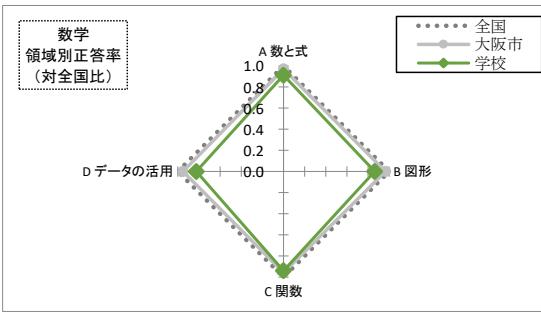
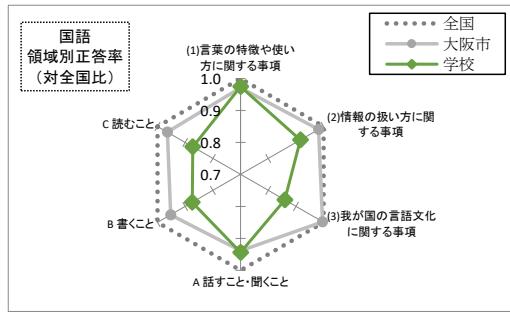
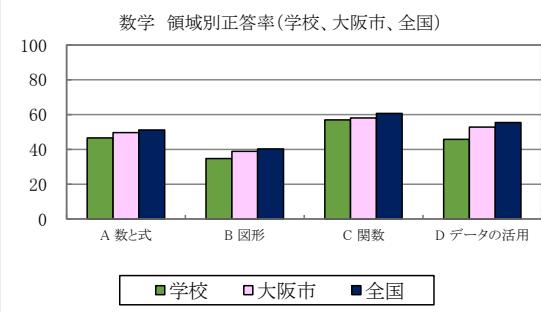
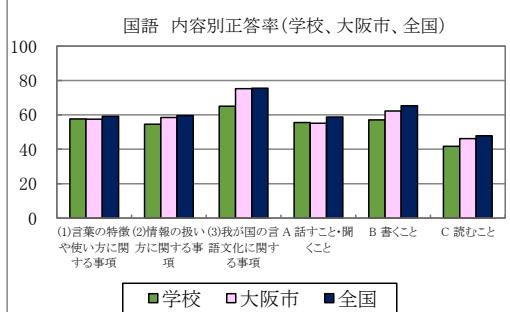
平均無解答率(%)	
国語	数学
3.9	14.0
4.1	12.5
3.9	11.3



【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	3	57.7	57.5	59.2
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	54.6	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	65.0	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	55.5	55.2	58.8
B 書くこと	2	57.1	62.2	65.3
C 読むこと	4	41.8	46.2	47.9

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	46.6	49.6	51.1
B 図形	3	34.8	38.9	40.3
C 関数	4	57.0	58.1	60.7
D データの活用	4	45.8	52.8	55.5



令和6年度 大阪市立 梅香中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

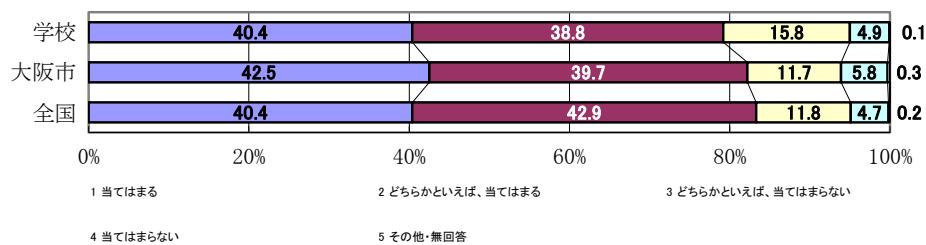
生徒質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

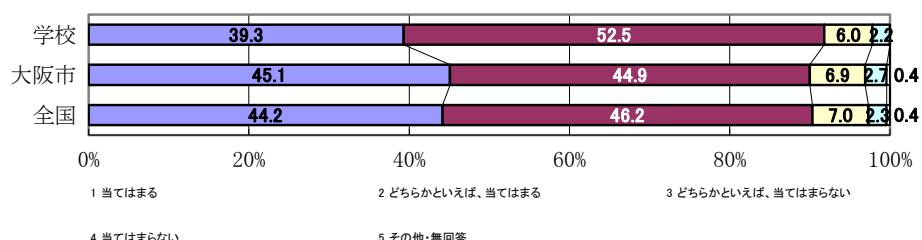
9

自分には、よいところがあると思いますか



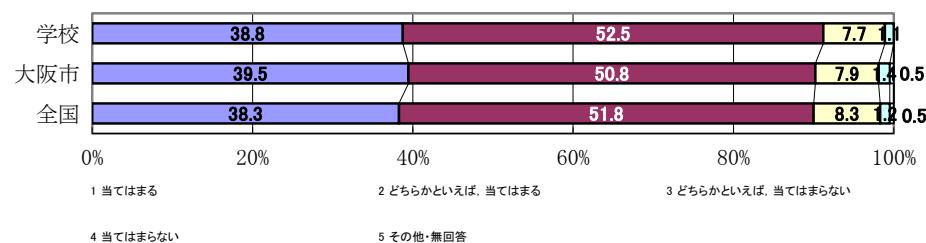
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



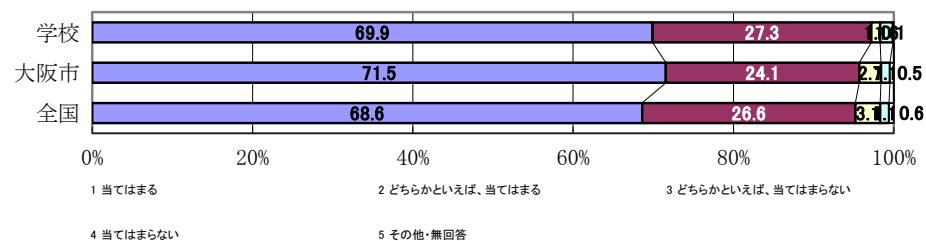
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



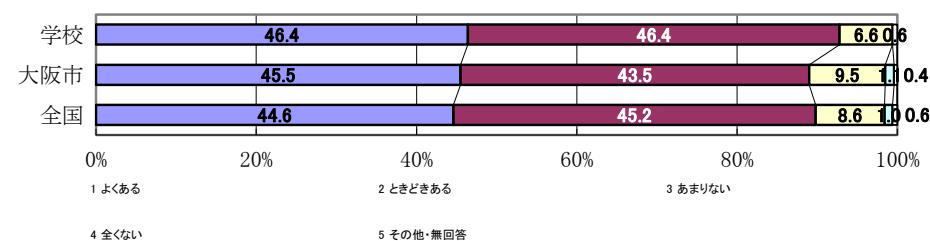
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



19

普段の生活中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



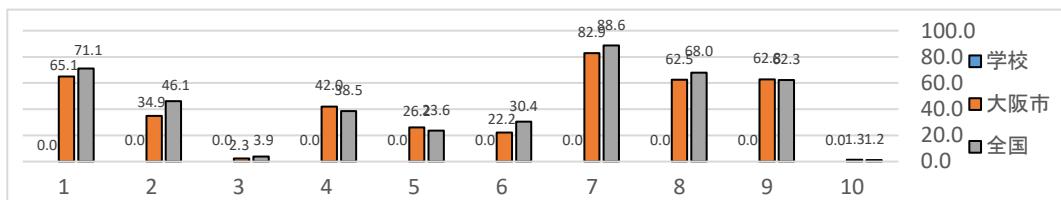
令和6年度 大阪市立 梅香中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より (26)

質問番号
質問事項

26

放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数選択)



1 学校の部活動に参加している

2 家で勉強や読書をしている

地域の活動に参加している(地域学
校協働本部や地域住民などによる
学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で
勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を
除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事
を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲーム
をしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

10 1~9に当てはまるものがない